

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
小麦粉粘土	小	グループ学習 高学年・ペンギン (図工・自立活動)	堤 由香里 若井千恵

<ねらい>

- 小麦粉や塩の感触を楽しむ。
- 小麦粉粘土へ水を入れて混ぜたり、道具を使って形を変えたりして楽しむ。
- 小麦粉粘土を通して、周りの教師とのやりとりを楽しむ。



<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- 小麦粉と塩を、それぞれ紙コップに入れて準備しておき、小麦粉だけで粉あそびをした後に、塩を混ぜ入れて感触のちがいを楽しめるようにした。
- 小麦粉と塩の入ったボールへ、ペットボトルに準備していた色水を混ぜ、色の变化を楽しめるようにした。また、手指や、へら・竹串などの道具を使い、形を変えて楽しんだり、水分を含んだ感触のちがいも楽しめるようにした。
- 各教師が児童の実態に応じて、粉を手にかけたり、水をかけて混ぜた感触を触らせたりすることで、活動に誘いかけるようにした。



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- はじめに、小麦粉だけで粉あそびをする時間を設けていたので、小麦粉のサラサラとした感触に興味をもち、意欲的に取り組むことができた。
- 手指を押し込んだり、道具を使って形を変えたりすることにも教師と一緒に、楽しんで取り組んでいた。



<その他（材料、費用、購入先等）>

小麦粉・塩（各60g）、食紅（赤・黄・緑）入りの水、ボール、へら、竹串（スーパーマーケットなどで購入）